

目次

[概要](#)

[背景説明](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料に %EARL-SP-2-PATCH_INVOCATION_LIMIT エラーと関連付けられる監視プログラムモジュールまたは Distributed Forwarding Card (DFC) ラインカードの背後にある原因を調査する方法を再度ブートする記述されています。

この資料は Catalyst 6500/Cisco 7600 プラットフォームに適当です。

背景説明

パケットの Catalyst 6500/7600 で最も一連の ASIC およびフォワーディングエンジンを通したハードウェアで全く転送されず。

問題が無効なパケット フォワーディングに導くかもしれないこれらのコンポーネントの間で検出する Cisco IOS[®] ソフトウェアはパッチを加えるとき暗号化アドレス認識ロジック (EARL) リカバリー メカニズムを引き起こします。パッチはデバイスの適切な機能が復元することができるように対応する要素をリセットします (フォワーディングエンジン/ASIC)。

設計ごとに、モジュールの再度ブートするは 10 の連続した EARL リカバリ パッチ試みが 30 秒以内に実行され、問題を解決しないとき引き起こされます。確認するために SP から提示プラットフォームソフトウェア EARL リセット config コマンドを入力して下さい:

```
6500-sp#show platform software earl reset config
EBUS Out of seq.           : Enabled
Earl freeze check.         : Enabled
EARL Patch invocation limit per every 30 secs : 10
Upon reaching EARL patch invocation limit : Crash
```

トラブルシューティング

モジュールが予想に反してリポートするときローカル フラッシュ ファイルシステムで生成され、保存される crashinfo ファイルがあるはずでず。

このエラーは監視プログラムモジュールによって生成することができます:

```
6500-sp#show platform software earl reset config
EBUS Out of seq.           : Enabled
Earl freeze check.         : Enabled
EARL Patch invocation limit per every 30 secs : 10
Upon reaching EARL patch invocation limit : Crash
```

または DFC ラインカードによって:

```
6500-sp#show platform software earl reset config
EBUS Out of seq.      : Enabled
Earl freeze check.   : Enabled
EARL Patch invocation limit per every 30 secs : 10
Upon reaching EARL patch invocation limit : Crash
```

このメッセージは crashinfo ファイルで表示されます。EARL リカバリ パッチが成功無しに 30 秒以内に応用 10 時だったのでモジュールがリブートしたことを示します。モジュールリセットは適切な機能性を回復するために引き起こされます。

余分なパッチ呼び出しのトリガーを確認するために、crashinfo ファイルを調査する必要があります。

この例では、パッチがなぜ要求されたか、そして時何時間か表示できます、:

```
Num. of times patch applied : 10
Num. of times patch requested : 11 <<<<<<<
AclDeny detection: (Total=12 Failed=1)
Time Reason InProgress Data
-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+
Jan 21 2014,05:52:57.281 GMT Earl Patch Limit Reach 0100 0
Jan 21 2014,05:52:57.281 GMT Tycho L2 mode L3 rst 0000 CAFE000C
Jan 21 2014,05:52:56.905 GMT Tycho L2 mode L3 rst 0000 CAFE000C
Jan 21 2014,05:52:54.677 GMT Tycho L2 mode L3 rst 0000 CAFE000C
Jan 21 2014,05:52:53.625 GMT Tycho L2 mode L3 rst 0000 CAFE000C
Jan 21 2014,05:52:52.773 GMT Tycho L2 mode L3 rst 0000 CAFE000C
Jan 21 2014,05:52:51.661 GMT Tycho L2 mode L3 rst 0000 CAFE000C
Jan 21 2014,05:52:51.257 GMT Tycho L2 mode L3 rst 0000 CAFE000C
Jan 21 2014,05:52:50.321 GMT Tycho L2 mode L3 rst 0000 CAFE000C
Jan 21 2014,05:52:48.709 GMT Tycho L2 mode L3 rst 0000 CAFE000C
Jan 21 2014,05:52:47.933 GMT Tycho L2 mode L3 rst 0000 CAFE000C
Jan 21 2014,05:52:38.509 GMT Tycho L2 mode L3 rst 0000 CAFE000C
```

"CAFE000C" が「データ」カラムで示されているとき更に crashinfo ファイルの「表示します EARL ステータス」出力された利用可能なチェックする必要があります:

```
----- show earl status -----
Adj. table interface block : Total interrupts - 11
AT_SEQ_ERR_INT : 0
AT_FOVR_INT : 0
AT_FUDR_INT : 0
AT_IB_ADJ_INT : 0
AT_BZONE_INT : 0
AT_CORR_ECC_ERR_INT : 0
AT_UNCORR_ECC_ERR_INT : 11 <<<<<<<
```

これは EARL パッチが AT_UNCORR_ECC_ERR_INT エラーから回復するために動作したことを意味します。これはハードウェア上の問題を示唆する隣接関係エラー修正コード (ECC) エラーです。

次のステップはスロットでモジュールを再置することです。エラーがそれでもあればモジュールは交換する必要があります。

監視プログラムモジュールの EARL メカニズムの現在のステータスを確認するためにこのコマンドを入力して下さい:

```
# remote command switch show platform hardware earl status
```

DFC ラインカードの問題の場合には、このコマンドを入力して下さい:

```
# remote command module [slot number] show platform hardware earl status
```

関連セクションが付いている模範的な出力は次の例で示されています。

AT_UNCORR_ECC_ERR_INT カウンターにモジュール 置換を検証する非ゼロ値があることに注意して下さい、：

```
6500# remote command switch show platform hardware earl status
```

```
<snip>
```

```
Adj. table interface block : Total interrupts - 2
```

```
AT_SEQ_ERR_INT : 0
```

```
AT_FOVR_INT : 0
```

```
AT_FUDR_INT : 0
```

```
AT_IB_ADJ_INT : 0
```

```
AT_BZONE_INT : 0
```

```
AT_CORR_ECC_ERR_INT : 0
```

```
AT_UNCORR_ECC_ERR_INT : 2
```

```
AT_ECC_ERR_DATA_CAPT : 1
```

別の値が crashinfo ファイルの *Data* カラムで表示される場合、Cisco Technical Assistance Center (TAC) ケースをオープンし、関連した crashinfo ファイルと共に出力される **show tech** をアップロードすることを推奨します。

%EARL-xxx-2-PATCH_INVOCATION_LIMIT エラーが報告される場合 [Field Notice 63743](#) は適当であるかもしれません。